

道央技術士会

平成 24 年度 第 1 回 見学会

# 「これからの用地管理とコモンズ展開」

2012 年 7 月 6 日(金) 苫小牧東部工業基地内

・大島山林 ・柏原フットパス ・苫東展望台 ・コナラのフットパス ・雑木林ケアセンター

道央技術士会 幹事 高石 富生

## はじめに

7月6日(金)に開催された、「第1回 見学会」についてご報告します。今回のテーマは「これからの用地管理とコモンズ展開 ～苫東環境コモンズの実践でみえること～」として、苫小牧東部工業基地内で活動されています NPO 法人苫東環境コモンズのフィールドの紹介とコモンズについて、当会会員で

もあり NPO 法人事務局の草苺健氏(一般財団法人北海道開発協会開発調査総合研究所 所長代理)に、案内と説明をしていただきました。会員7名の参加がありました。

### (1) NPO 法人苫東環境コモンズ

苫小牧東部地域は、苫小牧市中心部から東へ約 10 km、札幌市から南へ約 60 km に位置し、総面積は 10,700 ha で良好な自然が残

された樹林地、湖沼群等があり、自然と共生した自然豊かな開発地域です。昭和 46 年北海道開発庁(現国土交通省北海道局)により、重厚長大型の工業基地を目指した国家的プロジェクト「苫小牧東部大規模工業基地開発基本計画」として開発が始まりました。その後、産業生産機能、学術研究機能、居住生活機能などを備えた「自然と共生するアメニティに満ち溢れた複合都市形成」へ計画が見直されました。しかし、苫東開発の事業主体であった苫小牧東部開発株式会社の破たんにより、緑地区間はその後十分な管理がなされていない状況でした。

コモンズ commons とは、「それぞれの環境資源がおかれた諸条件のもとで持続可能なかたちで利用、管理、維持するための制度・組織のあり方のこと」(経済学事典)とされています。



(「利活用のビジョン案」 NPO法人苫東環境コモンズパンフレットより)

「苫東環境コモンズ」は、苫東(苫小牧東部工業基地)の豊かな自然を「守りながら利用させてもらう」仕組みです。苫東の一部に「環境コモンズ」という区域を想定して、NPO や市民が企業、行政とともに環境保全と利活用を進める実験的な取り組みと言えます。

### (2) 苫東環境コモンズの効用

「自然の恵みの享受」：森林浴、森林療法、山菜・ハスカップ等の採取。

フットパスのきっかけはドイツのクナイプ療法で、森林散策により心身の健康維持、病気の治療・改善を行うというものです。市内の病院外周の雑木林を整備したところ大変人気があり、森を歩くだけで睡眠が改善し、気持ちが落ち着き、毎日歩く人の中には薬の量が減って健康的になる人もいます。

「環境保全」：ゴミ捨て・山火事防止、樹林地の保育、雑草の刈り払い。

苫東の用地は約 10 km 四方相当の広大なもので、河川を含む広い現況の緑地があり、すべてを適切に管理することは不可能に近い状態です。苫東環境コモンズは、このような現況緑地の一部において土地所有者との協定に基づく管理を行い、趣旨に賛同した人々が自然の恵みを享受しながら環境保全に役立つ活動をしています。

### (3) 大島山林

大島山林は、広葉樹林を主とした苫東の骨格的な緑地です。1995 年から遠浅町内会が自主的な管理を継続しており、苫東環境コモンズの活動の始まりの山林です。シンボルツリーがあり、池やフットパス、歩くスキーコース等が整備されています。

広場には NPO メンバーが間伐した間伐材による薪が大量に積まれていました。これは一般の方々に販売され、活動資金の一部にもなっているようで、評判を聞きつけた町外からの購入者もいて、「薪が人をつなぐ」事にもなったそうです。

11 月から 3 月までの 1 シーズンでサラリーマンの成人男性が 1 ha の林を手入れできるそうです。

コナラ・ミズナラが 7 割のこの森は、昔は木炭生産が盛んで、適切に手入れをしていれば 30 年サ



大島山林での説明



大島山林 シンボルツリーわきの池



間伐材による薪



大島山林フットパス(右の柱は手造りのサイン)

イクルで森林は再生するそうですが、間伐をしていない森は下草も生えなくなるそうです。

#### (4) 柏原フットパス

湿原と採草地・雑木林のゾーンです。道内トップクラスのフットパス適地で、英国のフットパスを思わせるような風景だそうです。

現地に行く前に、苫東展望台から全体を見渡して説明を受けました。



苫東展望台から北方を望む



柏原フットパスでの説明



採草地の横を通り雑木林へ…

#### (5) コナラの雑木林保育地

1990年から苫東が取り組んだ雑木林間伐モデルゾーン。

管理用道路を挟んで苫小牧側は毎年一定の密度となるように間伐作業を行い、厚真側はそのままにしました。それまでは木を切るのは良くないとされてきましたが、風倒木、かかり木、つるに絡まれた樹木を手入れすることによって、木々は鮮やかに紅葉するようになり、ライトトラップ調査でも昆虫などの生物多様性にも優位である事がわかりました。

1994年からは市民やNPOが参加。雑木林のフットパスを完成させました。



コナラの雑木林保育地での説明



コナラの雑木林フットパス

#### (6) 雑木林ケアセンター

雑木林ケアセンターは、活動の拠点。ここにはエコトイレも完備(?)しています。エコトイレとは…地面に穴を掘った所に戸板で2面を囲っただけの解放感あふれるトイレで、使用後は落ち葉をかける

だけ。翌年には自然分解されるため形跡が残りません。センターにはトイレがないために主に女性の利用者向けに考えられたそうなのですが、残念ながらちょっと抵抗がある方もいるようです。



雑木林ケアセンター

#### (7) そのほかのゾーン

「つた森山林・山辺夕日の里」：苫東緑地の拠点。林道はフットパスになる。全国植樹祭の行われたエリアの山辺は樽前山に沈む夕日を見る適地。

「ハスカップサンクチュアリ」：湿原の自生地が乾燥化して生まれた群生地。

「沿道多用途地区」：国道234号に面した苫東最北部の一角。森づくりの植栽試験地、手作り市民利用公園とコスモス畑、景観に配慮したエントランスなど、苫東のメモリアルゾーン。

「勇払原生花園」：海浜植物の原生花園苫小牧版。

「浜厚真自然砂丘」：サーフィンの盛んな自然海岸。

「緩衝緑地造成地」：備蓄交付金による北海道の造成地。

「風倒自然復元地」：1981年の15号台風の風倒跡地約40haを造林せずに天然復旧。植えない森づくりの見本。自然復元のエコミュージアム。

#### (8) コモンズ活動における問題点と今後

フィンランドでは、全ての人々が自然環境享受権 (everyman's right) として知られる古くからある慣習法を遵守して、自然を自由に楽しむ権利を有しており、イギリスには通行権 (right of way) という、

国有地・私有地の別なく、地権者が存在する土地を公衆が通行することが認められる権利があるそうです。

北海道でコモンズやフットパスなどの活動がしやすいのはそれに近い意識や環境があるからだそうです。不動産や収穫物 (マツタケなど) の価値の高い所だと既得権等が問題となります。また、公共用地の場合は薪などの採取～販売により特定の人に利益を出す事や、「たき火禁止」等の規制が多く、コモンス的な利用は難しいようです。土地所有者としては、オープンアクセスの場合、事故があると所有者責任になるので積極的になれない…と言う事情もあります。

しかし、苫東のような広大な土地に限らず、地方や個人でも離村・離農や高齢化により管理できなくなった土地をどうするか? という問題は今後も増えてくるので、コモンス的な取り組みが必要になると思います。

#### おわりに

「持続可能な環境と資源利用のカギを握る共同管理の概念」として注目されているコモンスの取り組みは、今後、地域連携や地域ビジネスと結び付いて、各地でいろいろな形で発展していくものと思います。

同じ苫小牧市に住んでいながら、NPO法人苫東環境コモンスの取り組みやフットパスの存在を初めて知りました。人は、自然との関わり合いの中で様々な恵みをいただき、適正な管理を行うことで共に健全に成長していけると実感しました。

みなさんも、機会があったらぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

高石 富生 (たかいし とみお)

技術士 (建設 / 総合技術監理部門)

道央技術士会 幹事  
アルファ計画株式会社

